

笠松春まつり

かさまつまちづくりイベント実行委員会主催の「笠松春まつり」が『桜まつり』を皮切りに3月23日から4月15日までの24日間にわたって開催されました。

今年は二月が暖かく桜の開花が早くなるのではと予想されましたが、三月に入り冷え込み例年並の開花となり、奈良津堤の桜を見ようと大勢の家族連れや若者のグループが訪れました。十四日は朝方雨が降り、天気がか心配されましたが天気の回復も早く『笠松陣屋市』『宵まつり』も多くの人でにぎわいました。春まつり最終日である十五



▲満開の奈良津堤



▲宙に舞う大鳥毛

日は晴天に恵まれ、町内みこしの掛け声が響く中、『本まつりオープニング』は笠松清流太鼓で始まり、海外青少年招致事業によりこの日笠松町を訪れていたグアムのイナラハン中学校の生徒によるチャモロダンスの披露、町内の幼稚園や保育所の園児による演技や、笠松婦人会による踊りで盛り上がりました。これに引き続き総勢百六十五人に上る『大名行列お奴』が始まると、お奴の毛槍の妙技に沿道に詰め掛けた大勢の観客から盛大な拍手が沸きあがりました。町内には踊軸、町内会自慢の本みこしや花みこしが繰り出し、まつりムード一色の一日となりました。



▲踊軸



▲八幡神社に奉納する本みこし



▲バルーンショー



▲「ノコッタ、ノコッタ」紙ずもう